

学校点描

PTA 総会が終了し、新しい役員の元で PTA 活動が始まります。

《M中学校》

NO. 2 H27. 4. 22

担当：教頭

先日の PTA 総会へのご出席ありがとうございました。総会は、盛りだくさんの内容となり、予定の時間よりも 15 分程伸びてしまいました。来年度以降、どこを短縮するのか、全体の計画を見直していきたいと思っています。

今回は、担任の先生方の授業を参観していただきました。ご自分の専門教科の授業を公開した先生もいれば、学級目標を生徒と考える授業を公開した先生もおります。生徒の様子はもちろんのこと、担任の先生の人柄や熱意が垣間見られたのではないのでしょうか。

事前の打ち合わせで、校長先生から担任の先生にお願いしていることは、「こんな学級にしていきます。」
「こんな点をこだわって学級をつくっていきます。」という、メッセージみたいなものを、生徒や保護者に伝えてほしいということでした。

当日の授業の中で、お話なされた先生もおりましたし、学級だよりで、ご自分の思いを文章にしたための先生もおります。教師も人間ですので、失敗もあります。ただ、目指すゴールをお知りいただいて、保護者の立場から応援していただければ幸いです。

原石を磨くには

授業を参観された保護者の方はご存知だと思いますが、各学年の廊下には、今年目標について、生徒一人一人が考えていることが貼られています。勉強や部活動で、具体的な姿を書いている生徒もいれば、受験に向けて、それまでの取り組み方について、すでに考えている生徒もおります。内容も、1 年、2 年、3 年と上がるにしたがい、より具体的であると同時に、上級生としての責任感みたいなものが溢れていることに気がきます。これまで積み重ねてきた、中学校生活の経験によるものなのでしょう。

3 年生の S. M さんは、

『私は 3 年生になって、ドキドキした気持ちや不安があります。いろいろな場面で、1・2 年生をひっぱっていかないといけないので、自分なりにがんばりたいです。中学校最後の年なので、最高の思い出をみんなで作りたいです。・・・』と書いていました。

中学校 3 年目をむかえていても、「ドキドキしている・・・」なんて書いていますよ。このドキドキは、1 年生が書いている「ドキドキ」とはあきらかに違うドキドキなのですね。中学校なって 3 回目のスタートのドキドキ、小学校から合わせると 9 回目の新年度がはじまるドキドキ。義務教育最後の始まりのドキドキなわけです。“みんなで” 作る最高の思い出とは、協力して達成したときの達成感を知っているからでしょう。

また、G. Kさんは、

『義務教育最後の年で、学級委員長になりました。・・・・』という書き出しです。どの生徒も、新しいチャレンジと、不安が入り混じっているんですね。

私事になりますが、ここ3年間は、“萩野学園”という学校建設のプロジェクトに加わっておりました。萩野学園とは、新庄市の萩野、泉田、昭和各小学校と萩野中学校を統合した県内初の『施設一体型小中一貫教育校』です。この学校では、中学校1年生とか中学3年生というような呼び方はしません。7年生とか9年生と呼ぶことにしています。9年間で子どもを育てるという意識の表れです。

2月に校舎建築が終了し、今年の4月5日に開校式が行われました。開校式では、生徒代表として9年生で女子生徒のO. Kさんが、大勢の人やマスコミのいる前で、次のような誓いのことばを披露しました。

「私たちにとって、新しいこの校舎は、宝石箱のようです。でも、今の私たちはまだまだ宝石ではありません。みんなで磨き合って、きらきら輝く宝石のような人になります。1年生から9年生まで互いに磨き合い、日本一の学校をつくっていきます。」と。

私もこの大きなプロジェクトに参加した手前、校舎を宝石箱になぞらえ、自分たち児童生徒を磨く前の原石だと語った誓いの言葉には感動しましたね。

萩野学園のような新しい学校に入った子どもも、最上中学校で、いろいろな決意をもって生活を送っている子どもも、ところは違えども、みんな同じなんです。

創立30周年を迎えた最上中学校ですから、校舎は宝石箱のようにきらきらはしていませんけども、中で生活している生徒たちは、萩野学園の生徒たちに負けないくらい、自分という原石を磨いていくのです。

そうそう、石ころを磨いて宝石にするまでに、大切なことは何か知っていますか？

原石を磨くには、より硬いもので磨かなくては磨ききれないということです。ダイヤモンドの原石は、ダイヤモンドで磨くのです。

そこから、人間を磨くという行為も、全く一緒ではないかと考えるわけです。

中学生にとって、硬いものとは何なのか。保護者の皆さんと考えたいひとつです。

----- きりとりせん -----

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp